

コロナに
負けない!

5月25日の“緊急事態宣言”解除から5カ月 油断のできない「コロナ」緊張の日々続く・・・

■政府の「緊急事態宣言解除」から5カ月。10月22日には半年ぶりに道内の1日の感染者数が40人を超えて、収束の見通しがつかない『新型コロナウイルス』。私たちの身近な生活圏内の札幌市や小樽市でも、新たな感染者が確認される日々が続いています。

■北海道では、晩秋の行楽シーズンを迎えて、道民の皆さんに、引き続き感染拡大防止の協力を呼びかけています。

私たちひとり一人が警戒感を怠らない“3密”の基本を心がけましょう。

北海道の状況

【累計感染者数】 2,804名

【死亡者数】 109名

- 10月25日現在(道公表) -

コロナに
負けない!

北海道からのお願い

道民の皆様へのお願い

最近の傾向

- 会食の場などで感染拡大
- 感染経路不明事例の増加
- 特に若い世代の方々の感染が増加

これ以上の感染拡大を防ぐためには…

道民の皆様

一人ひとりの行動が何より大切です。

「感染しているかも」と思って 常に感染防止対策を意識して行動

① 飲酒を伴う
懇親会



お酒が進んで感染
防止のガードが下
がってしまう

② 仕事後や
休憩時間



ホッと、マスク
を外して会話し
てしまう

③ 屋外での
活動の前後



車での移動や食事
中などに三密が生
じやすい

オール積丹で
乗り越えよう!

北後志感染制御センター

(余市協会病院) で PCR 検査

●検査予約

月曜日～金曜日に予約受付(当日不可)

●検査当日に持参するもの

本人確認書類

(運転免許証、健康保険証など)

●検査費用

北後志5町村の住民や企業・団体は
1人2万円、それ以外は同3万円。

【問合わせ先】

余市協会病院 TEL 0135-23-3126

自分の命を守る・家族の命を守る・社会の命を守る



9月26日、美国小泊海
浜公園で積丹町商工会
(馬場龍彦会長) 主催の



『しゃこたん「軽トラ市」が催され、町内外から多くの人が来場しました。』
3回目の今年は、町内10件の農家や飲食店など多くの事業所が参加。ジャガイモやカボチャ、パプリカなどの新鮮な野菜が軽トラの荷台で販売され、イカやホタテなどの魚介類や焼きそばなど町の特



▲バケツジンギスカン



産品の格安な提供で賑わいました。

また、積丹町産のコンブを餌に育てた羊肉のバケツジンギスカンが販売され、大好評でした。

町の地域おこし協力隊の皆川公信みながわきのぶさんは、「みなさんに満足してもらえて嬉しいです。積丹町の新たな特産品をめざして頑張りたい。」と話していました。



～“公募・町長任命制”第2期目～ 新しい農業委員を任命

農業委員会等に関する法律の改正より、選出方法が町長の任命制となり2期目の公募(推薦・募集)に応じ、議会の同意を得た8名の委員が任命されました。

9月30日には、総合文化センターで辞令交付

式が行われ、松井町長から辞令書が手渡されました。

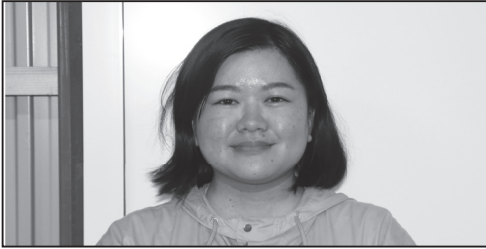
今回任命された委員は、令和2年9月30日から令和5年9月29日までの3年間、町の農地行政と農業振興のためにご尽力いただきます。

(敬称略)



氏名	住所	年齢
郷六光幸	野塚町	70歳
酒巻徹	野塚町	74歳
佐藤晃	美国町	73歳
澁谷俊一	美国町	67歳
高野健治	婦美町	71歳
松葉淳一	婦美町	38歳
美濃寛	野塚町	63歳
柳澤茂明	婦美町	70歳

(注) 氏名掲載は五十音順



10月から新しい地域おこし協力隊として
なかかわちあき
中川千明さん（26歳・高知県出身）が体験型観光
 農場支援員として勤務しています。

中川さんは、『大学院まで関西地方で生活をしてい
 たので、積丹町の景色や街並み、食べ物など、どれを
 とっても新鮮で驚きを感じる毎日です。馬や羊の飼育、
 ジンを作るためのハーブ栽培などの経験は無く、今は
 先輩協力隊員や企業の方々に仕事を教わっている状況
 ですが、少しでも積丹町の魅力発信の手助けが出来る
 よう頑張ります。』と抱負を話しています。北国の新
 しい環境での活躍に期待しています。

新しい地域おこし協力隊を紹介していきます！

中川 千明さん

管理栄養士 篠原 ちあきさんが着任
 ～町民の心身の課題解決をサポート！～



10月1日より管理栄養士としてしのはら
篠原ちあきさん（29歳・東川町出身）が住民福祉課で活躍してい
 ます。

篠原さんは、『精神科の病院に6年半と同じグルー
 プ内の地域密着型特別養護老人ホームに約3年勤務の
 経験があり、給食管理業務や栄養管理業務に携わって
 きました。公務員としての栄養士の仕事は初めてなの
 で、至らない点も多々あると思いますが、1日でも早
 く町民の皆様のお力になれるよう、一生懸命頑張ります
 ので、どうぞよろしくお願ひします。』と明るく抱
 負を話しています。

小樽海上保安部便り No.6

海の「もしも」は
 118番

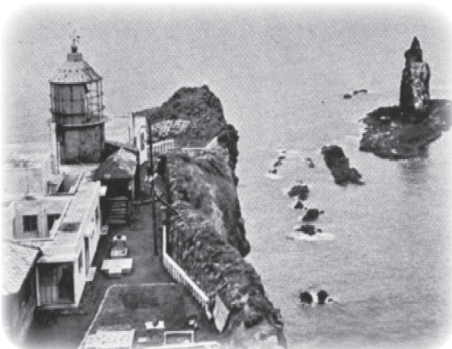
～灯台記念日と神威岬灯台～

11月1日は灯台記念日です。慶応二年 英・仏・蘭・米
 の四カ国と締結した江戸条約で外国貿易のための灯台設置
 を要請されたことから、わが国初の洋式灯台を神奈川県三
 浦半島の観音崎に灯台を起工した明治元年11月1日にちなんで「灯台記念日」と定めています。



積丹町の神威岬灯台は、明治19年北海道庁の設置に伴い、外国との貿易事業の発展のため同庁
 事業費で建設された第一号の灯台で、明治21年8月25日に初点灯しました。

当時は灯台長ほか2名の職員の3世帯（最大時で5世帯）が居住勤務で生活していましたが、
 昭和35年8月31日に巡回管理（無人化）に代わり、72年間続いた居住勤務に終止符を打ち、こ
 の間に87名（33人の所長）の灯台守が勤務しました。



▲居住勤務時代の神威岬灯台



▲現在の神威岬灯台

【問合わせ先】

〒047-0007

小樽市港町5番2号

小樽海上保安部

（管理課）

TEL 0134-27-6118